



令和元年東日本台風の (台風19号) 経験を踏まえて

江戸川区 危機管理室

令和元年東日本台風について

1. 気象概要

①台風情報（10月12日 21時頃、江戸川区最接近時）

- ・ 中心気圧 955hPa
- ・ 最大瞬間風速 60m/s

②区内の状況

- ・ 最大瞬間風速 43.8m/s 12日 21:17(臨海)
- ・ 時間最大雨量 20.0mm 12日 9:20~10:20(小岩事務所)
- ・ 総雨量 157.0mm 10日~12日(江戸川区役所)

2. 避難所の設置等 ※避難者数は最大避難者数

- ・ 小中学校避難所の設置 65施設：26,761名
- ・ 各区民館・コミュニティ会館等 31施設：5,763名
- ・ 文化施設 8施設：2,501名
- ・ くつろぎの家 1施設：15名 ⇒合計105施設：35,040名

令和元年東日本台風について

3. その他の施設

・特別養護老人ホームや介護老人保健施設等の施設が自主的に避難者を受け入れ（17施設）：61名

4. 従事職員数

避難所(学校)		本庁・区立施設等		合計 (区職員)	総合計
区職員	教職員	区職員	指定管理者等		
601	127	514	401	1,115	1,643

5. 主な対応経緯

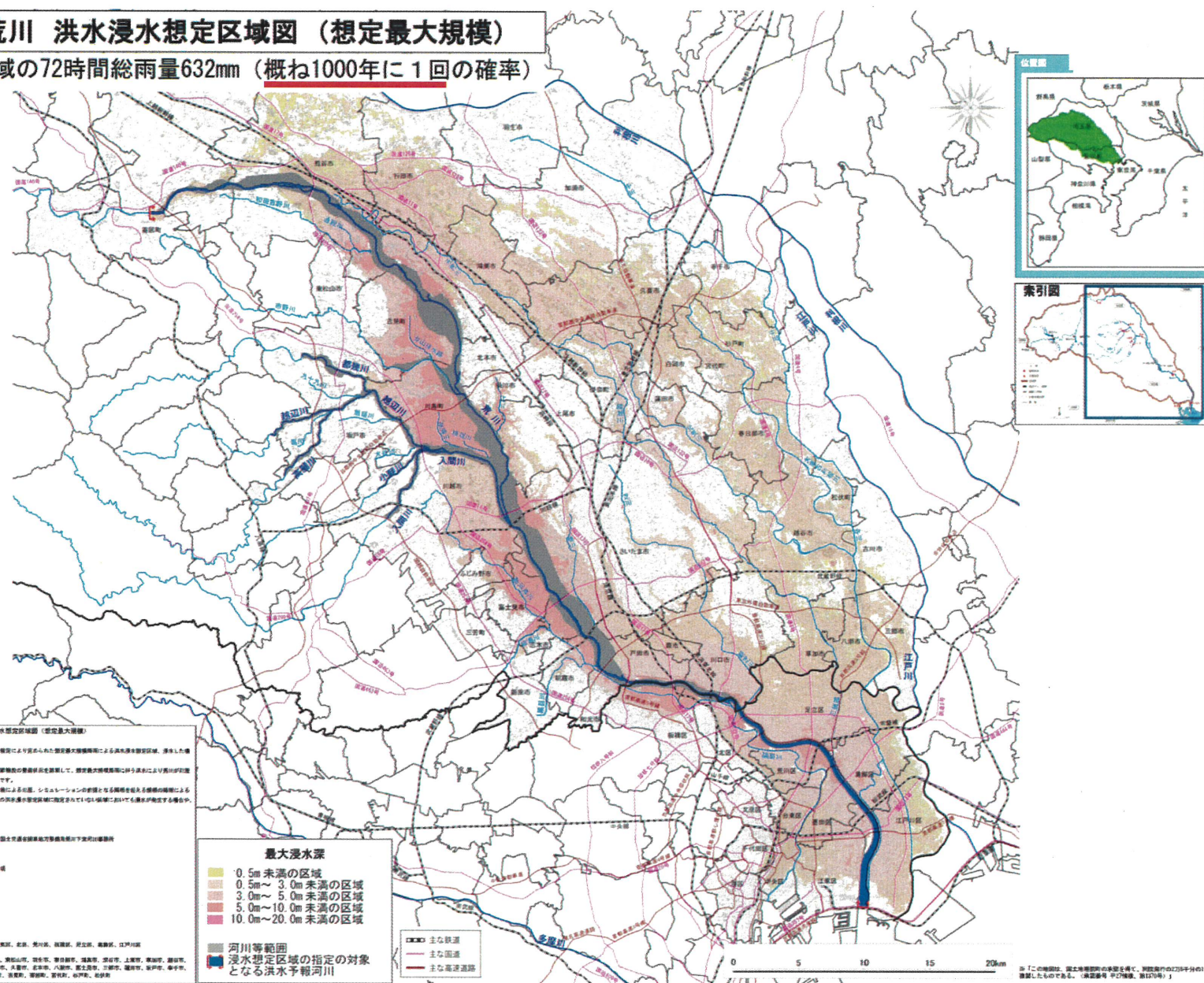
- ・ 10/8 9:50 情報連絡態勢
- ・ 10/11 11:30 自主避難施設の受入先発表
- ・ 10/12 7:15 荒川流域500mm超の降雨可能性の連絡(気象庁)
 - 8:00 江戸川区災害対策本部設置
 - 8:30 自主避難施設開設
 - 9:45 新中川以西に避難勧告を発表
- ・ 10/13 8:00 避難勧告解除を発表

○荒川流域・利根川流域図



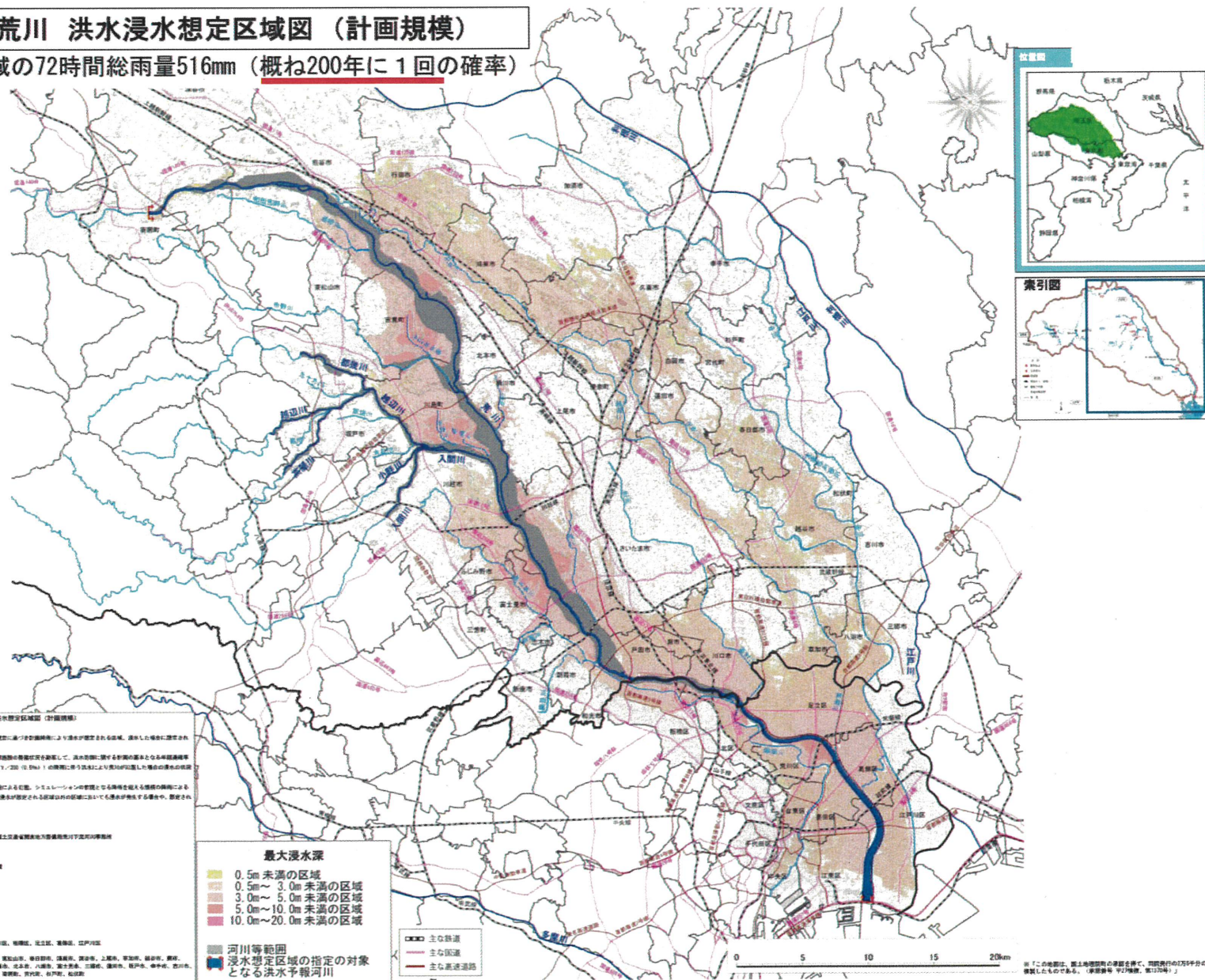
「利根川水系の流域及び河川の概要（国土交通省）」より作成

※荒川流域の72時間総雨量632mm（概ね1000年に1回の確率）



※荒川流域の72時間総雨量516mm（概ね200年に1回の確率）

※荒川流域の72時間総雨量516mm（概ね200年に1回の確率）

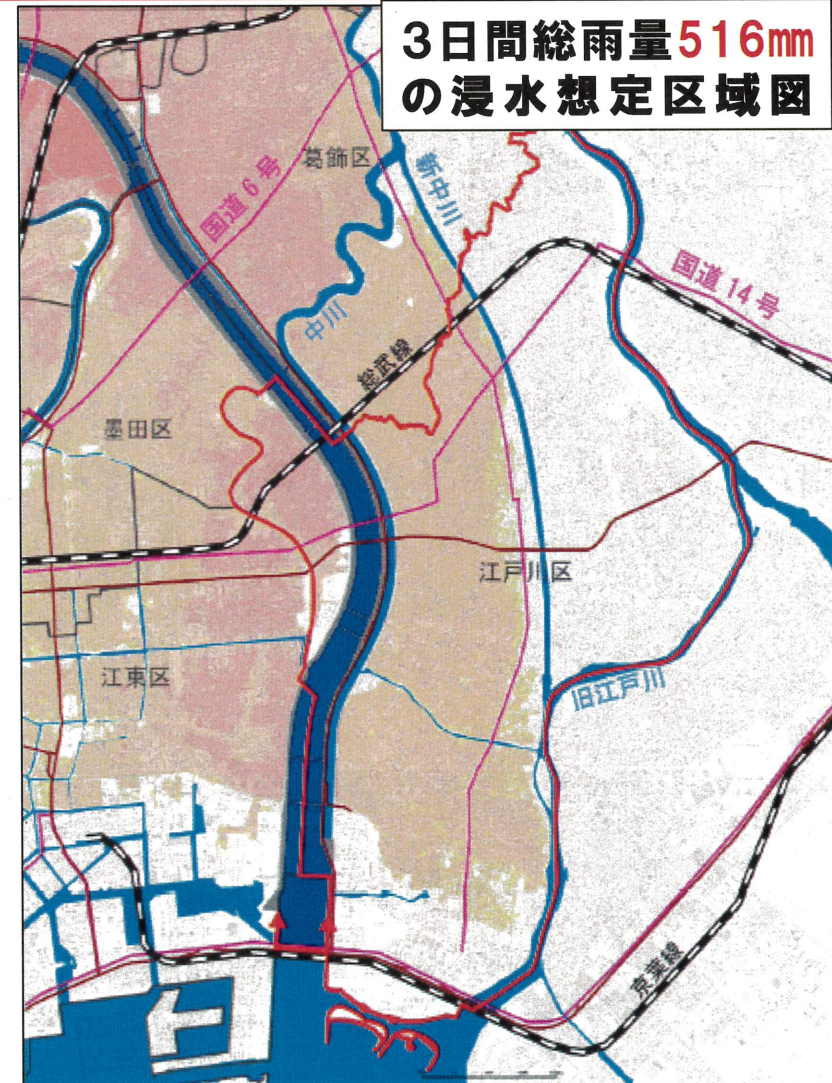


10月12日の避難勧告について

岩淵水門
(北区)




荒川流域3日間総雨量が500mmを超える可能性があるとの予測だったため新中川以西のみ避難勧告となった

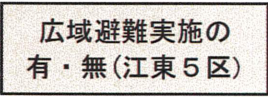


風水害対応態勢の見直し

《判断の目安》 ①台風が東京地方に接近・上陸する場合における中心気圧 又は ②荒川上流域の総雨量が400mm以上の場合
※気象庁からの警報発令の見通しや東京湾満潮時刻と合わせて総合的に判断する

台風接近・上陸時における中心気圧	強←	≤ 930hPa <	< 950hPa ≤	< 970hPa ≤	→弱
区民の避難方法	広域避難	在宅避難又は避難所避難(避難勧告等)	在宅避難又は自主避難施設開設	在宅避難	
区の職員態勢	風水害第三次態勢(検討中)	風水害第二次態勢(新規)	風水害第一次態勢(新規)	水防態勢	
					

	概ね3日前	概ね2日前	概ね1日前	★台風上陸
	荒川上流域の総雨量400mm	500mm以上	600mm以上	
実施する場合	第三次態勢【判断】			
実施しない場合			第二次態勢【判断】 第一次態勢【判断】	



- ・台風の中心気圧及び荒川上流域の総雨量が基本的な判断基準
- ・概ね3日前の時点で甚大な被害が出るおそれがある場合は、
広域避難を呼びかける。
- ・自主避難施設を設置(葛西地区は船堀小・葛西小)

台風19号時の避難所のようす

葛西小学校・中学校のようす



※避難者のプライバシー保護のため、画像にぼかしを入れています。

2,500名 避難

避難所開設職員からの意見聴取の結果について

水害時における避難所運営に関する課題

- ・水害時に避難者をあらかじめ上層階に誘導すべきか。
- ・避難勧告の解除を待たずにほとんどの避難者が帰宅してしまう。
- ・教室内にペットを受け入れるべきか。

意見聴取の結果を踏まえた取組

- ・地域防災計画やマニュアルの改訂
- ・備蓄物資の追加配備
- ・地域及び学校との連携強化
- ・避難所の運営体制の見直し

避難所の備蓄・設備について

u 《備蓄されている物資一覧》 ※昨年度までに配備したもの

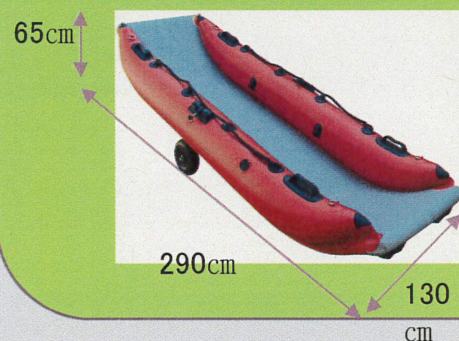
備蓄物資	数量	備蓄物資	数量
クラッカー	3990食	カセットコンロ	5台
粉ミルク	2箱	ガスボンベ	48本
粉ミルク用保存水	7箱	ガス式発電機	1機
哺乳瓶	30本	すずらん灯	4式
簡易トイレ（段ボール型）	6個～12個	LED電球	32個
簡易トイレ（袋タイプ）	1000袋	災害時特設公衆電話	5台
マンホールトイレ（和式・洋式）	5基	懐中電灯（施設点検用）	1本
毛布	400枚	レスキューセットBOX型	1セット
カーペット	30枚	歯ブラシ	180本
レスキューシート	600枚	災害用備品BOX	1セット
ブルーシート	50枚	ビブス（運営スタッフ用）	30着
ポリタンク（飲料水用）	5個	応急給水栓キット	1セット
ポリタンク（生活水用）	5個		

避難所の備蓄・設備について

ii 《今年度に新規配備の物資一覧》 ※一部 配備予定を含む

備蓄物資	数量		数量
ボート・ボート付属品	1セット		
ライフジャケット	6着		
蓄電池	1セット		
避難所表示幕	2枚		
掲示物セット	1セット		
タオル	200枚		
衛生用品・事務用品セット	1セット		
ブルーシート（追加）	50枚		
羊羹	400食		
ゼリー飲料	400食		
ブルーシート	50枚		
LEDランタン	5個		
施設点検用ヘルメット	5個		

避難所の備蓄・設備について



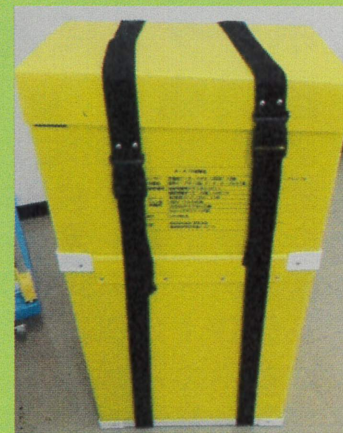
《ボート・付属品・ライフジャケット》

- ・ 使用時に損傷等で漏水があっても、沈まない硬質ウレタン製ボート
- ・ 膨らませる必要はなく、そのまま使用可能
- ・ 陸上ではタイヤを装着し、けん引が可能
- ・ 車いすを直接乗せることが可能
- ・ 6人乗り
- ・ 付属品：屋外カバー、浮き輪、ロープ、車いす固定用ベルト（専用ケースに全て収納）
- ・ 乗員用ライフジャケット6着も配備
- ・ **浸水する避難所**（100校）に配備

避難所の備蓄・設備について

《蓄電池》

- 2,962Whの大容量蓄電池
- 付属のソーラパネルで充電可能
- 屋内での使用が可能
- 携帯電話の充電にも使用可能
(同時に40台充電可能)



避難所の備蓄・設備について

《衛生用品・事務用品セット》

- ・ 避難所開設・運営に必要な物品をボックスに入れ配備
 - ・ 配備物資
 - ポリ手袋（200双）ゴミ袋（50枚）
 - 軍手（24双）PPロープ（5巻）
 - 立入禁止テープ（5巻）ファイル（2冊）
 - 養生テープ（30巻）紙コップ（1000個）
 - レジ袋（1000枚）カッター（1個）
 - はさみ（1個）フェイスシールド（3枚）
 - ウェットティッシュ（510枚）飛沫防止幕（2枚）
- ※一部ボックスではなく段ボールに入っているものもあります。



感染症対応の備蓄(各避難所)

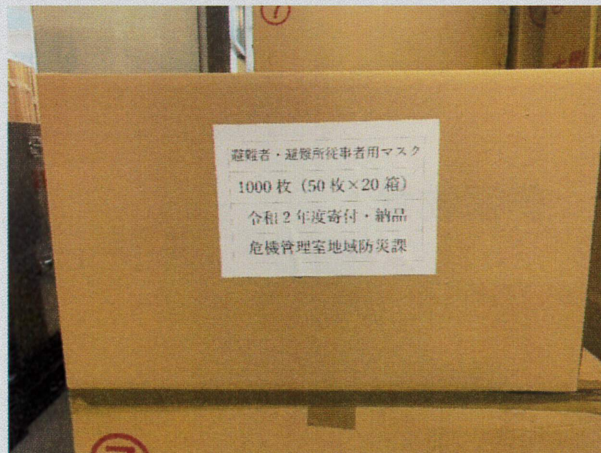
状況	品名	数量	管理	備考
配備済	液体石鹼	1 缶 (18kg)	学校物資	
	アルコール消毒薬	9本 (4L)		
	次亜塩素酸ナトリウム	1本 (2. 1L)		室内消毒用
	パルスオキシメーター	1個		
	体温計 (非接触)	2個		
	食中毒予防ブック	2冊	備蓄物資	
	マスク	2, 000枚		
	フェイスシールド	3枚		
	ビニール手袋	200双		清掃・物資配付
	ウェットティッシュ	500枚		
	ごみ袋	50枚		

避難所の備蓄・設備について

感染症対策物資

《マスク》

- ・ 運営スタッフ、
忘れてしまった方用
- ・ 各校2,000枚配備済



《間仕切り》

- ・ 発熱等がある方を一般避難者とは別室に誘導し、部屋内で避難者同士の感染を防ぐために間仕切りを使用する。
- ・ 各避難所14張

避難所運営協議会について

《避難所運営協議会とは》

災害発生時に避難所の開設・運営を円滑におこなうため、平時より「**地域・学校・区**」の三者で避難所の役割分担やルールを決めるとともに、訓練をおこない**避難所対応の実践力を高める組織。**

